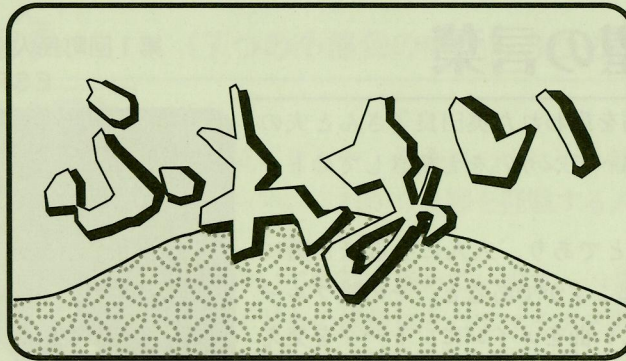


いろんな人と人のつながり、
ふれあいを美浜のMと波で
イメージしました。



美浜町人権尊重啓発協議会会報

第53号

発行:平成26年7月23日

編集:人権協広報調査部会

連絡先:美浜町生涯学習課

TEL 32-1212

FAX 32-1222

E-mail: jinkenkyo@town.fukui-mihama.lg.jp

「人権のまち・美浜」さらに広がれ (4/25・金 人権協評議員会総会 会長挨拶より)

人権とは、「一人ひとりの人が人らしく幸せに生きていくための権利」です。誰もが生まれながらに持っている、誰からも侵されることのない基本的な権利です。そして、この権利を社会全体で守り、尊重することによって、より多くの人々が、幸せに平和に、そして自由に暮らせる社会が築かれるのです。

自分の思ったことを自由に口にする、自分の選んだ宗教などを信じる、自由に学ぶこと、自分の選んだ人と結婚すること、好きな服を着ること、好きな音楽を聴くこと、病気になったら医療を受けることなど、これらは全て私たち一人ひとりが持っている「人権」です。

ただ、この人権というのは黙っていても全ての人に与えられるものではありません。現在、私たちのまわりには、今なお、様々な人権問題が発生しています。同和問題・部落問題を始めとして、女性、子ども、高齢者、障がいのある人、外国人をめぐる人権問題のほか、社会情勢の変化や価値観の多様化などによる新たな人権問題、インターネットなどによる人権問題等があります。このことは、人権尊重の理念やこれを実践する行動がまだまだ不十分だということです。

美浜町では「人権のまち・美浜」を目指して42年前に美浜町同和教育推進協議会(同推協)が発足し、今の美浜町人権尊重啓発協議会(人権協)になってからも18年が経過し、人権尊重の理念が町民の間に浸透してきていることは確かです。しかし、町民全体、町民一人ひとりの間には、広がりということを見ると十分とは言えません。人権協評議員を先頭に、私たち一人ひとりが、身近なところから人権について考え、町行政、家庭、地域、職場、社会のあらゆる場を通じて積極的に行動し、一人ひとりの人権が尊重される住みよいまちづくりに努力していきましょう。



人権協会長 一瀬繁紘氏

美浜町人権尊重啓発協議会 平成26年度基本方針

人権とは、一人ひとりが人間らしく幸せに生きていくための権利で、誰もが生まれながらに持っている、誰からも侵されることのない基本的な権利である。

わが国においては、同和問題をはじめ、子ども、女性、高齢者、障がい者、アイヌの人々、外国人、HIV感染者やハンセン病回復者等をめぐる様々な人権問題が重要課題となっている。また、犯罪被害者及びその家族の人権問題、インターネット上の掲示板などに見られる人権問題、環境問題に関わる人権問題等も生じている。特に、最近では、人権の基本である命を軽視するような諸問題が、家族間をはじめとして頻発しており、正に憂慮される事態となっている。これらの状況をふまえ、人権尊重の取組みの継続的かつ積極的な推進が必要となっている。

美浜町においては、地域改善対策事業等の施策によって格差が改善され、同和問題に関する差別意識は解消に向けて着実に進んでいる。その成果を受けて平成14年2月16日に『美浜町地域改善対策事業終結記念大会』を行い、いわゆる「ハード面の事業」の終結を宣言した。現在においては、「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律(人権教育・啓発推進法)」(平成12年12月)及び「人権教

育・啓発に関する基本計画」(平成14年3月/平成23年4月一部変更)に基づき、人権が尊重される社会の実現に向け、人権教育や啓発に関する施策を総合的に推進している。このような国内外の動きや各地域の取組み、美浜町の現状を踏まえると、これまで培ってきた成果を土台にして地域づくりを進める中で、同和問題をはじめとした様々な人権に関わる課題を解決することは私たち町民の重要な責務である。

美浜町人権尊重啓発協議会(以下「人権協」という)は、町民一人ひとりが、自分の人権だけではなく周囲の人たちの人権についても正しい認識を持ち、互いの人権を尊重し合うことのできる社会の実現を目指し活動する。

そのために、家庭・地域社会などのあらゆる場を通じて、身近なところから人権について考える機会を提供するとともに、人権協の活動を広く町民に知らせ、町民一人ひとりの人権意識の向上を図るための諸施策を実施する。

また、「美浜町人権教育研究会」(略称・人権研)を中心とする保育や学校教育と、人権協を軸とした社会教育との連携も一層深め、平成24年12月に改定された生涯学習推進プランの趣旨を踏まえ、学社一体となった人権教育・啓発の更なる推進に努めていきたい。

『大丈夫』は希望の言葉

第1回町民人権講座 (5/21なびあす)
ESPERANZA

第1回町民人権講座はクローン病を患われた奥田良子さんと夫の勝彦さんによるアンサンブル「エスペランサ」をお招きしてのトーク&コンサートでした。

冒頭人権とは思いやりの心のことであり、大人になるほど奥に眠ってしまう。それをいかに呼び起こすかであると。その後フルート・オカリナとベースによる懐かしい曲をメインに、トークを交えながらの演奏が始まりました。クローン病を発症してからの壮絶な病との戦い。そして病気からの挫折、夢や目標を失ったことで心まで病んでしまい、つらい時期を経験されました。

『しかし19年前、阪神大震災をきっかけに生きようと誓いました。自分の人生自分で生きようとしなかったら何も始まらないと励ましてくれた友、自分の体だから後悔しない治療を受けてきなさいと後押ししてくれた主治医の先生、仕事をするをすすめてくれた人、そしてどんなつらいときにも家族がいてくれて一人ではないと。試練を乗り越えられたのは、そういう人たちがいてくれたおかげだと気づきました』

そして最後にみなさんに希望と幸せをいっぱい感じながら元気に生きて行ってほしい。一人でも多くの人に大好きな言葉『大丈夫』と声をかけてあげてほしいというメッセージで締めくくられました。

心温まるフルートの音色とトークに会場にいた人は思いやりの心を呼び起こされていたのではないのでしょうか？

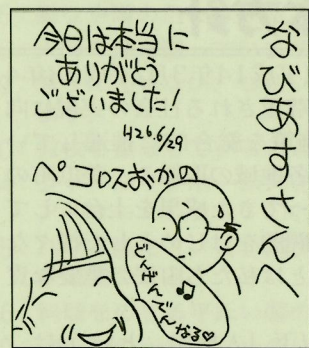
※ESPERANZA (スペイン語で「夢・希望」のこと)



子は親の手のひらの上に

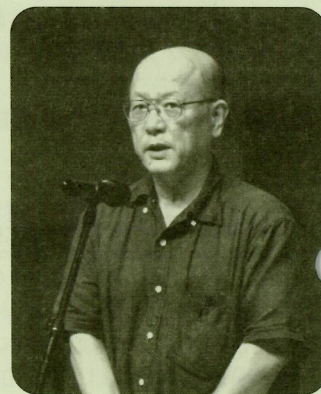
第2回町民人権講座 (6/29なびあす)
岡野雄一さん

第2回町民人権講座は、岡野雄一さん(漫画家・シンガーソングライター)の講演会を開催しました。岡野さんは、2012年に漫画「ペコロスの母に会いに行く」を刊行。同作は認知症となった自身の母・みつえさんとの同居生活を描いたもので、20万部のベストセラーとなり、2013年には実写映画化もされました。



講演で岡野さんは、母が認知症となった経緯や介護中の苦労話等を笑いを交えながら話され、また母をグループホームに入所させる時は本当に切なく、何年間も後ろめたい思いがあったと語られました。

現在も母のみつえさんは入所しており、岡野さんは週に2回ほど会いに行っているとのこと。「母には1日でも長く生きてほしい。母は自分と対面しても反応することがなくなってきましたが、母と2人での時間は以前よりも豊潤なものになっています。母と2人でのいると、そこに亡くなった父親の気配を感じる時があり、そんな時、自分は父と母の手のひらの上にいるように感じます」との言葉がとても心に残りました。



今後の町民人権講座 (予定)

	日時	場所	講師	内容等
第3回	8月2日(土) ①10:00~②14:00~	なびあす	映画「そして父になる」 (上映時間約120分)	是枝裕和 監督・脚本・編集
第4回	9月11日(木) 19:30~	なびあす	LGBTアクティビスト・文筆家 東小雪さん	講演会 仮)「多様な“家族”の形」
第5回	10月15日(水) 19:30~	なびあす	シンガーソングライター 大野靖之さん	トーク&ライブ
第6回	11月11日(火) 19:30~	なびあす	坂田かおりさん	講演会 仮)「母娘で問うた部落差別」

※いずれも入場無料・全席自由・事前申込不要です。お誘い合わせの上、お気軽にご来場下さい。

人権協部会紹介

(7つの小部会の中から3つの部会を紹介します)

啓発資料人権協コーナー小部会

昨年度は『認知症』をテーマに啓発資料を作成しました。部会員の中にも、認知症の親を介護した経験のある人がいました。「自分の体験や苦勞を知ってもらい、これから介護を経験する人たちが、少しでも気持ちが軽くなってもらえたら」と思いながら編集にあたってきました。

今年度は、『子どもの育ちをめぐる環境』について資料を集めています。一昔前と比べると、私たちの暮らしはずいぶんと便利になってきました。しかし、子どもの成長にとってマイナス要因となるものも増えてきています。今まで二回の会合で、子どもの育ちについて関心のあることを自由に出し合ってもらいました。

未来に生きる子どもたちがすこやかに育つために、親や家族、地域社会でできることは何か、気をつけなければいけないことは何か、町民の皆様とともに考えていきたいと思っています。

また、啓発資料の裏表紙を飾る『笑顔の写真』もお待ちしております。

人権協コーナーでは、今年も参加型の体験コーナーを準備して、参加者みなさんの絆を深めたいと考えています。人権のつどいにはたくさんの人が参加して下さるようお願いいたします。

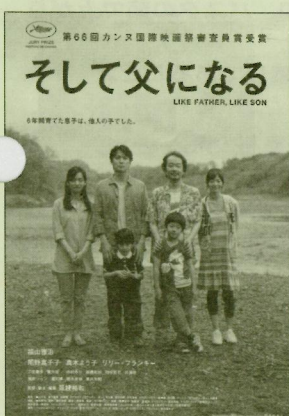
作品公募 意識調査 小部会

「意識調査」に関しては、人権協発足以降、平成10年・17年・24年度と、ほぼ同じ内容で7年ごとに実施し、集計分析・経年比較するとともに、報告書等にまとめて町民の皆様へ報告してきました。今年度はその活用のしかたや、次に行う意識調査の内容や実施方法等について検討する予定です。

「作品公募」に関しては、例年のとおり、9月頃から「ふれあい」をテーマとする人権作品(短い手紙・絵・ポスター・写真)の募集を行い、審査会を経て、12月6日の人権のつどいの日に表彰式を行います。また入賞作品は、人権作品集「ふれあい」として2月頃発刊し、町民の皆様へ配布する予定です。募集要項を配布いたしますので、ふるってご応募いただきますようお願いいたします。



町民人権講座 小部会



町民人権講座部会では、広く人権についての意識を高めていただこうと、毎年六つのテーマで6回の町民人権講座を企画しています。今年度は、既に2回の講座を終了しており、第3回は、映画『そして父になる』を上映する予定です。第4回は、『性に関する人権問題』をテーマに東 小雪さんを講師としてお招きします。また、第5回は、シンガーソングライターの 大野靖之さんです。『命、夢、家族』といったテーマを歌い、これまでに回った学校は現在700校を超えるという方です。最終回は『母娘で問うた部落差別(仮)』と題し、坂田さおりさんの講演です。被差別部落に生まれ、学習会の中で育った彼女。「いのち輝いて生きる」ことの大切さを語っていただきます。

毎回、参加者からたくさんのご意見感想をいただきます。それらをスタッフ全員で読ませていただきながら反省会を行い、次回の運営に生かしていただけるようにしております。一人でも多くの方にご来場いただきますようお願いいたします。

「人権って何？」(3回シリーズ)

①人権って身近なもの

「人権」ときくと、自分の生活とは関係のないものと思われるかもしれませんが。しかし、「人権」は、私たちの日々の生活を支える、とても身近で、大切なものです。ただ差別を無くそうというものではありません。

朝起きて、顔を洗って朝ご飯を食べる。学校へ行つて働く。一日を終えて布団に入つて眠る。何気なく平穩に暮らしていますが、これは私たちの人権が守られているからなのです。

自分の思ったことを自由に発言できるとか、自分の選んだ宗教を信じる事ができるという事もそうです。人から危害を及ぼされるようなときには警察に助けを求めることもできます。

こういった人間らしく生きる権利を総合して人権と言います。

皆さんの生活の中にある人権、一度考えてみてはいかがでしょうか。



こえ 声 こえ

「ふれあい」第52号をお読みになった読者の方より、おたよりが寄せられましたので一部を紹介します。

「つながる手」参加しました！ タイムラインにもアップし、みんなに“ステキ〜”とのコメントをもらいました。中にはそれを機に参加してくれた子も。ここでもまた“つながる”ことができました。(Kさん)

イベントや催し物等、色々な面でいじめ問題や差別問題などが取り上げられている今日(こんにち)。紙面だけのものだけでなく、美浜町にも実際のところ、人目を気にせず、いつでもどんな時でも駆け寄り、駆け込み寺なるものがあるのでしょうか？なければ、そういうシステム(場所)をぜひ作ってあげて欲しいです。(Kさん)

“自分の不幸が受け入れられなくて死を考えたこともあった”というフレーズがとても心に突き刺さりました。そこから考えを変えてプロの音楽家になられた経験に勇気づけられました。差別と区別、区別して違いを理解できるように気をつけたいです。(Mさん)

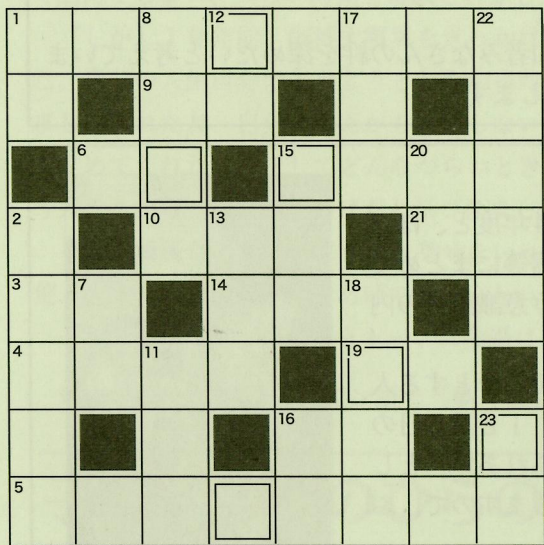
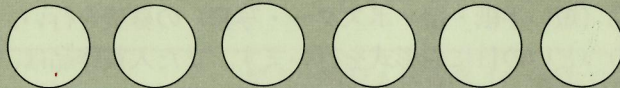
■応募方法■

- 答え・住所・氏名を別紙とじこみ用紙に書いて下記までお送り下さい。
〒919-1141 美浜町郷市29-3 美浜町生涯学習センターなびあす内 人権協事務局
- 〆切は、平成26年8月29日(金)です。
- 正解者の中から抽選で5名の方に、図書カードをお送りします。
- なお、前号の「人権クロスワード」の正解は、「みんないい」でした。当選者は次の皆様でした。おめでとうございます。

森 弘行さん (佐 田) 竹本 祥兵さん (菅 浜)
 木村 静香さん (興道寺) 山口 実晴さん (太 田)
 川崎 孝一さん (早 瀬)

人権クロスワードパズル

二重わくの中の文字を使ってできる言葉が答えです。



ヨコのカギ

- 1: 2014年サッカーW杯の予選リーグで、日本は1対2で惜敗しました。
- 3: 野球のベースのこと。
- 4: むやみに可愛がること。
- 5: 曇りや雨の日にはすることができません。
- 6: 人間の体を覆っています。
- 9: 思うに任せない、つらい気持ちのこと。晴らしたくなります。
- 10: 何枚も重なっていること。
- 14: シャーロックホームズを生んだイギリスの作家。アーサー・コナン・○○○
- 15: ハワイ語で「ノミが飛び跳ねる」という意味の4弦の弦楽器のこと
- 16: 料理をのせる平たい器のこと。
- 19: アジ科の出世魚。小さいものはハマチやメジロと呼ばれています。
- 21: 全国いたるところを表す四字熟語。○○浦浦。

タテのカギ

- 1: 円盤又は円錐型の銅を、軸を中心に回転させて遊ぶおもちゃのこと。
- 2: 「歯ごたえのある」という意味の、パスタの茹で上がりの状態を表す言葉。
- 7: 俗っぽくなく瀟洒(しょうしゃ)な感じであること。
- 8: 船で航行する際の道標。
- 11: ぎりたんぼや稲庭うどんで有名な東北の県。
- 12: 日本とブラジルではちょうど12時間。
- 13: 同じようなことを繰り返すなどしつこいこと。
- 15: サブ○○○、ハイ○○○、ア○○○。
- 16: 傾斜のある道のこと。
- 17: Thank you ⇒ ありがとう
- 18: アルセーヌ・ルパンの生んだフランスの作家。モーリス・○○○○。
- 20: 人などが連なって長く並んだ状態のこと。
- 22: 円盤を回転させて球を投げ入れ、それが落ちる場所を当てるゲームのこと。
- 23: 「次の…」という意味。○○朝、○○週、○○年など。

編集後記

『人権とは思いやりの心』これはエスペランサの奥田良子さんのお話です。お互いに相手を思いやる心があってこそ、お互いの人権も大切にされるということですね。

しかし、思いやりの心だけで人権を守ることができるかと言えばどうも落とし穴がありそうです。クローン病という難病にかかった奥田良子さんは、最良の治療を受けに東京へ行かれました。素晴らしいお医者さんとの出会いによって今の元気な姿があるのだと思います。

思いやりのある良い先生に巡り合えても、もし処方され

た薬がデーターを改ざんして許可されたとんでもない物だったらどうでしょう。実際、インフルエンザ治療薬タミフルやリレンザ、さらには血圧降下剤など不正がどんどん指摘されています。先生の思いやりの心だけでは、良い治療を維持することができないということですね。

人権を守るためには、お互いを思いやる心だけでは足りないということです。果たして何が足りないのでしょうか。